

宮農情報（小麦）

第53号 令和5年3月24日

福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

1 生育概況

2月下旬以降気温が高く、平年より8日程度早く生育が進んでいます。播種時期等により生育に差がみられるため、小麦の生育に応じた管理作業に努めます。

また、今後の降雨による影響が大きいため、枕地や排水溝を整備し、ほ場内に滞水しないよう排水対策を徹底します。

予想出穂期（今後の気象条件により前後するため、ほ場をよく確認して下さい）

「シロガネコムギ」

「ちくしW2号」

11月20日播種の場合：3月31日ごろ

※出穂期：麦粒がわずかに出た穂の割合がほ場全体の4～5割になった時

2 赤かび病防除

赤かび病の防除適期は、開花期（出穂期の7～10日後）です。生育により出穂時期は異なりますので、必ず開花（白い葯が見える）を確認し、適期防除に努めます。

ちくしW2号は、赤かび病に「やや弱い」ため、2回防除を徹底します。

防除適期（11月20日播種の場合）

「シロガネコムギ」 4月7日頃～

「ちくしW2号」 1回目：4月7日頃～

2回目：1回目の7～10日後

※出穂期以降に降雨や曇天が続く場合は、シロガネコムギでも赤かび病が多発生するため、2回目防除（1回目防除の7～10日後）を行います。

<使用する薬剤>

	薬剤名	10aあたり使用量	備考
粉剤体系	トップジンM粉剤DL	4 kg	出穂期以降2回以内 収穫14日前まで
液剤体系	トップジンM水和剤	1,000倍 100 L	
無人航空機 体系	トップジンMゾル	8倍 0.8 L	

※防除は、朝夕の風のない時に行いましょう。隣接ほ場に他作物が作付されている場合は、農薬が飛散しないよう特に注意して下さい。

3 ちくしW2号の穂揃い期追肥

昨年からちくしW2号の追肥量を変更しており、令和4年産のちくしW2号は、平均12.2%と、初めて子実タンパク質含有量12%の目標を達成しました。生産者ごとのばらつきをなくし、一丸となってJA福岡大城の小麦品質を向上させていきましょう。

<ちくしW2号の穂揃い期追肥量>

	1回目	2回目
尿素 (葉面散布)	開花期(出穂期の7～10日後) 4 kg/水100L/10a	1回目の7～10日後 4 kg/水100L/10a
硫安	開花期(出穂期の7～10日後) 20kg/10a	—

※尿素有葉面散布は、赤かび病防除と同時に行うことができます。

～赤かび病防除と同時の尿素葉面散布の方法～

- 赤かび病防除時期（開花期）に、10 a 当たり尿素 4 kgと農薬を、水100Lに溶かして散布します。
- なお尿素葉面散布の場合、晴天で気温が高い日などは、葉先や芒が若干枯れますが、粒の充実や収量への影響はありません。
- ただし、濃度が高いと葉焼けが激しくなるため、一度に 5 kg/水100L/10aより濃く散布しません。
- 散布後は散布器具が故障しない様、洗浄を入念に行います。（ノズル、ホースだけでなく、器具全体を水洗いする）

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！